

# 知ってください、私たちのこと

障がいのある方は、  
どんなことで困っていたり、  
どんな気持ちで過ごしていたり  
するのでしょうか。



緊急放送が聞こえません。  
何が起こったのでしょうか  
(聴覚障がい者)



電光掲示板を指さしたり、  
筆談やスマホで状況を教えてください。

駅のホームは  
歩くのが怖いです  
(視覚障がい者)



「前に行くのが危ないですよ」などと  
具体的に声を掛けてください。

読めない漢字があります。  
切符の買い方も分かりません  
(知的障がい者)



掲示を読み上げたり、  
情報の要点を教えてください。

いつもと景色が違い、  
自分がどこにいるのか  
分からなくなりました  
(知的障がい者、視覚障がい者)



「何かお困りですか」と声を掛け、  
サポートできることがないか  
聞いてください。

欲しい商品がどれか、  
よく分かりません  
(視覚障がい者の方など)



分かりやすい説明や気遣いなど、  
障がいのある方へ配慮が必要です。

多目的トイレで、「遅い」と  
扉をたたくのはやめてください  
(車いすの方など)



多目的トイレは車いすやオストメイト  
(人工肛門・ぼうこう)を使用している方  
に対応したトイレです。  
そのため、時間がかかる方もいます。

## 地域で障がいのある方を支援している方がたくさんいます！

市内の就労支援事業所の職員さんにお話を聞きました



(社)おおぞら会 工房時  
管理者 中野 昭精さん

**Q.** 障がいのある方が働いているところを  
身近でご覧になって、どんなことを感じま  
すか。

**A.** 工房時は、食品製造・うどん店営業な  
どを通して「私らしい働き方を見つけよう」  
という理念を持っています。障がいの特性  
により、得意・苦手なことは異なりますが、  
それぞれの得意なことを生かしてチーム一  
体で取り組み、自分の仕事が評価されるこ  
とで達成感や充実感につながります。こう  
した経験からあふれる笑顔が見られる日々  
が続くといいなと願っています。

**Q.** 障がいのある方が社会で働くことには、  
どんな意味があると考えていますか。

**A.** 「新しい誰かとのつながり」が生まれる  
ことに期待します。「給料や工賃で好きな買  
い物をする」「職場が心地良い居場所になる」  
「友人や知人、先輩・後輩といった関係がで  
きていく」など、働くことで変化が起こり、  
その人の暮らしがより楽しく、面白くなる  
と思います。工房時の工賃は正直高いとは  
いえませんが、金額だけでは測れない「働くこ  
と」の意味や価値をこれからもみんなで考  
えていきたいです。



市内には200を超える障がい福祉サービス事業所が  
あります。障がいのある方が、その人らしく地域で働  
き、社会参加ができるよう取り組んでいます。